

地域版
広報紙

さかもと

坂本地区の人口・世帯

区分	11月末	10月末
人口計	12,816	12,833
人口(男)	6,390	6,401
人口(女)	6,426	6,432
世帯数	4,921	4,923

発行：坂本事務所・坂本公民館 岐阜県中津川市千旦林1197-10
 電話：0573-68-2001 FAX：0573-78-0002
 ホームページ：<http://www.city.nakatsugawa.gifu.jp/branch/sakamoto/>

新年のあいさつ



2020年を迎えるにあたり、2019年、我が国の元号が平成から令和へと切り替わった。日本国民にとって一つの区切り目となるこの年、私事ながら小生は満75歳になり、坂本区長会長に選任され約8年が経過しようとしている。安倍総理大臣とほぼ同じような在任期間である。冒頭から総理を出すなど畏れ多いが、区切り目の新年面白くもないジョークをお許し頂きたい。



さて、岐阜県と中津川市は新設されることとなった「中央新幹線」計画において「県駅」と「総合車両基地」を坂本へ誘致した。国に代わって建設を進める「東海旅客鉄道」は地元意向も汲んで事業を進行し、昨年より当地で用地買収が進み、トンネル工事等は着工または入札募集中である。平成から令和となるこのタイミングで計画に沿って関連事業も一斉にスタートし、それらはすべて令和の時代に完成する予定である。美乃坂本駅付近でも、移転者の中にはすでに土地を処

分し転居を済まされた方、移転先で新築の方、用地物色中の方もおられると聞く。また移転先探しで難儀をしておられる方など、様々なケースがあり皆が全て順調とは言いがたい。各事業者、行政は個々の住民の立場を理解し、親切丁寧な対応をしてもらいたい。

一方、中津川市の方針は、一貫してリニア事業誘致を市の発展に重ね合わせておりそれは解る。「リニア」のチャンスは最大限活かすべきであり、そのためにはまず市施工で取組中の「美乃坂本駅周辺区画整理事業」を期限までに仕上げなくてはならない。その他ポイントとなる具体的事項につきいくつか提言したい。まず、一部の住民は事業に協力し、既に涙を吞んで愛着ある家屋などを解体処分し更地にされている。その一方で市が購入した旧「誓華殿」の建物は見苦しい姿を晒している。この巨大な廃墟は劣化が進行し近隣住民、通学児童らにとって極めて危険であり、景観面からも速やかに解体し跡地を有効活用すべきである。そのためにも撤去は早ければ早いほど可である。



次にこども園完成に伴う「小学校教室改善問題」は待ったなしである。茄子川の一部住民がこども園用地買収に全面協力して下さったことを忘れてはならない。小中学校の整備と、在来線南口から学校周辺の再開発計画に是非とも着手をお願いしたい。

坂本事務所、リニア推進坂本事務所の人員、機構見直し、事務所レイアウトの改善など実施し、リニア、濃飛横断自動車道事業など地元住民の不安に応え、住民の協力をスムーズに得られるよう前向きに取り組んで頂きたい。

現状、中津川市は数多くの巨大プロジェクトを抱え、積み重ねていく仕事を限られた人員でこなしていくのは誠に苦労様である。ご苦労は解るが、当面プロジェクトは増え続け、実行が伴わなければ折角のチャンスはピンチに変わってしまう。ピンチに陥らないよう、笑って2021年を迎えられるよう願いたい。

2020年初春、リニア完成予定の2027年は「あっ」という間に来てしまう。中津川市と中津川市民は一体感をもって目標に立ち向かいたい。次世代に向けてそれぞれの立場で最大限の努力を惜しまない姿勢が重要であると痛感している。そういう市の姿勢が見えてこそ、地元は最大の苦労を共にするであろう。

坂本地区区長会長

市岡

勉



